

H29

平成29年度補正
ものづくり・商業・
サービス経営力向上
支援補助金

有限会社石東林業商会

■事業

木材乾燥工程の製造プロセス改善による
競争力強化事業

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

木屑焚き温水循環装置

創業100年の伝統と最新技術を駆使し、
地松に特化した建築用材を全国に提供

【経営理念】

- ◎創業の精神を尊び、健全経営を旨とする
- ◎木材を通じ、地域の社会発展に貢献する
- ◎石東の発展と、従業員の生活向上を期する

面積の約8割を森林が占めている大田市。全国有数の優良な松の産地として知られている。この地で、松に特化した建築用材を全国各地に提供しているのが、有限会社石東林業商会だ。松くい虫の被害で生産量が落ち、全国的にも地松の製材量が減る中、高品質の製材を安定的に供給してきた。特に力を入れているのが、乾燥だ。木材は乾くとねじれる性質があるが、中でも松はねじれの度合いが大きい。同社では、時間をかけた天然乾燥と、温度管理を徹底した人工乾燥を兼ね合わせることで、香りや肌触りなど木の持つ自然の良さを生かしつつ、平均含水率18%以下の品質を実現してきた。

梁(はり)や桁などの構造材に加え、約10年前からはフローリングなどに使われる造作材の製材も手掛けるように。力強い木目が特徴の地松フローリングは、一般住宅はもちろん、文化財指定を受けた伝統的建造物の修繕などでも重宝されている。

バイオマス燃料を使った窯の新設で
乾燥時間短縮と品質向上を実現

30年以上前に県内でもいち早く乾燥機を導入し、その後は2機を併用してきたものの、老朽化で1機は壊れ、もう1機も近年、窯の消耗で熱効率が悪くなっていた。60度程度に保ちたい温度が、最低50度ほどにまで落ちるのが難点で、乾燥に時間がかかるようになっていた。時には、天然乾燥後に機械での乾燥を待っていた木材の状態が悪くなり、廃棄せざるを得なくなることもあった。

そこで乾燥機に併設される窯を新設。製材工場で排出された木くずや端材などのバイオマス燃料を使うタイプだ。温度を一定に保てるようになったため、乾燥時間が短縮、品質向上も実現することができるようになった。業界では近年、100度以上の高温で、短時間に含水率を極限まで下げる方法が主流になってきているが、同社が行っているのは、中温で約2週間かけて水分量を落とす



代表取締役 松井修吾

☒ものづくり技術 ☐革新的サービス



1 導入した木屑焚き温水循環装置
2 木材乾燥機の制御盤
3 製材所の様子



方法。乾燥時間が1日短縮できるだけでも、製造プロセスが大きく改善することになった。

マイナスイメージ払しょくし、
マツの魅力を発信
床材フローリングの需要拡大狙う

スギやヒノキなどに比べ、強度があって粘り強く密度が高い地松は、昔から屋根からの重さを支える梁や桁などの構造材として利用されてきた。一方で、ねじれやすく、反りやすい性質を調整しないまま使われたことも少なくなく、松に対するマイナスイメージも浸透してしまった。松井修吾社長は、「エアコンや高気密など現代の建築は、自然の木にとって過酷な環境です。それでも保存や乾燥に手をかけ、確実な技術で管理した松は、高い品質で暮らしを豊かにします」と話す。

壁や天井で隠れてしまいがちな構造材に比べ、松の魅力を日常的に味わえるのがフローリングなどの造作材だ。樹脂成分が多く、月日が経つほどに艶が出て、全体が鮎(あめ)色に変化していく美しさや、素肌で感じる温もりは無垢(むく)松フローリングならではの。今後は、松の魅力を一層発信していくとともに、床材フローリングに力を入れていく予定だ。

■Company Data

有限会社石東林業商会



丁寧に積み上げた天然乾燥中の木材

代表者名：松井修吾
創業年：1921(大正10)年
設立年：1947(昭和22)年
資本金：3,300千円
従業員数：12名
主たる業種：木材製材業
本社：〒694-0052 大田市久手町刺鹿2678
電話：0854-82-8001
FAX：0854-82-8003
URL：https://www.sekirin.co.jp/